

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	08	事例No.	06	依頼者	東浦町立石浜西小学校	実施場所	同左
実施対象	石浜西小学校 5 年生全員（1 クラス、40 名）						
実施日時	平成 30 年 6 月 4 日（月）10 時 50 分～12 時 25 分（2 時限）						
テーマ	地球の持続可能性と身近な生活のありかたを考えるワークショップ						

●依頼内容

「1 個の地球でどう暮らす？」ワークショップを通して、地球規模の環境問題への関心を高めたい。

●講師：新海洋子

協働による主に環境分野の活動や ESD 取組の伴走支援、多様な世代を対象にしたワークショップ等参加型学習/ESD の実践、教員等指導者を対象にした ESD 研修を行っている。

●授業の内容

導入	自己紹介		5 分
	ふりかえり「これまでの学び」 今日の授業のねらいの説明	ごみの分別、水質調査等これまでの体験学習を通して気づきや学びをふりかえり、ごみの分別や水質調査がなぜ必要なのかを考えながら授業に参加することをガイドしました。 ※グループ分け	10 分
ワークショップ	個人ワーク・グループワーク「大切なものはなに？」	私の大切なもの、私が生きるために大切にしているものやことを各自ワークシートの記入し、グループで共有し、各グループ代表者が発表しました。	20 分
	アクティビティ「今日朝から何をしました？」	朝起きてから今まで何をしたらか、時計の絵を掲載したワークシートに各自記入し、歯みがき、トイレ、朝食…など水、ハブラシ、トイレトペーパー、米、卵、パン、全て地球の資源、自然の恵みから作られたものであることを共有しました。一つの地球の資源や循環システムによって人間が生かされていることへの気づきを促しました。	20 分
	アクティビティ「1 個の地球でどう暮らす？」	地球環境が悪くなり、地球で暮らせなくなってしまうたら…。地球から脱出して数十年宇宙船で暮らすことになったとしたら…。宇宙船に自分が乗り込むこととなったら何を持ち込むかを各自で考え、グループで話しあい、宇宙船内での暮らしの様子を模造紙に描きました。 人間が生きるために大切なもの、必要なことを模造紙を眺めながら、ふりかえり、気づきや学びをもたらしました。	15 分 20 分

●授業の様子

- ・今朝の自分の行動をふりかえることで、水や食べ物などふだん何気なく得ているものが1つの地球の資源、その循環によって得られていることに気づき、地球環境の問題が「自分ごと」であることを意識できたようでした。
- ・自分が大切にしているものや、宇宙船に持ち込むものを文字や絵にし、グループで共有することで、地球環境と自分の暮らしのつながりに気づいた様子でした。
- ・個人ワーク、グループでの話し合い、グループワーク等参加型学習をいくつも導入したことで、児童の授業への積極的・主体的参加、豊かな想像力に基づく授業展開を可能にしました。

導入のお話



ワークショップの作業

